

# 2024 Paris Paralympic で 学んだことと国内展開について

2025.01.12

JTU 技術委員会 小金澤光司



# 本日は報告すること

1. 派遣スケジュール

2. レースコース

3. 宿泊場所（選手村）

4. 役割分担とハプニング

5. 国内展開

6. まとめ

# 1. 派遣スケジュール

日時	内容	備考
<b>8/29(Thu)</b>		
17:55	シャルルドゴール空港(CDG)着	JL45
18:10	PVC Validation	@CDG
19:00	選手村へ移動	シャトルバス
<b>8/30(Fri)</b>		
5:30	会場到着	TOシャトルバス
7:00	タイミングミーティング	アンクルバンドチェック
7:30～9:45	Bike,Run試走 Swim試泳	
10:00～12:00	Manufact. Ident.(持物検査)	Bike,Equipment
12:00～13:00	TOミーティング	
13:00～16:00	ユニフォーム引取	@UAC (Porte de Versailles)
16:00～17:00	競技説明会	PTS(立位)
18:00～19:00	競技説明会	PTWC/PTVI(車椅子、視覚障がい)
<b>8/31(Sat)</b>		
6:30	会場到着	TOシャトルバス
7:30～9:00	フルドレスリハーサル	
12:30～13:30	TOミーティング	
<b>9/1(Sun)</b>		
	PTS競技の予定が <b>明日に延期</b> (4:00 AM決定)	1日で全競技(11種目)実施へ パリ市内ツアーへ変更

# 1. 派遣スケジュール



<b>9/2 (Mon)</b>	レース当日	
5:30	会場到着	TOシャトルバス
6:00~7:30	アスリートラウンジチェックイン	第1、第2グループ
8:15:00	PTWC1 Men (10)	
8:17:40	PTWC2 Men	
8:20:00	PTWC1 Women (9)	
8:23:13	PTWC2 Women	
9:35:00	PTS3 Men (11)	
9:40:00	PTS2 Men (10)	
9:45:00	PTS2 Women (10)	
9:30~11:55	アスリートラウンジチェックイン	第3、第4グループ
12:10:00	PTVI1 Men (12+12)	
12:12:28	PTVI2/3 Men	
12:15:00	PTVI1 Women (11+11)	
12:17:55	PTVI2/3 Women	
12:25:00	PTS5 Men (10)	
12:30:00	PTS4 Men (13)	
12:40:00	PTS5 Women (10)	
12:45:00	PTS4 Women (15)	
14:15~15:55	表彰式	
16:00~17:00	TOミーティング	
<b>9/3 (Mon)</b>		
15:00	選手村→CDG移動	シャトルバス
20:25	CDG→羽田	



# 2. レースコース (バイク) 20km

3.7km×5周  
+ 1.5km



PARIS 2024 PARALYMPIC GAMES  
INDIVIDUAL TRIATHLON EVENTS



PARALYMPIC  
TRIATHLON

1<sup>st</sup> AND 2<sup>nd</sup> SEPTEMBER 2024 - FROM 06:15

SIX CLASSES:

- MEN: P10E, P10S, P10N, P10B, P10L, P1M
- WOMEN: P12E, P12S, P12N, P12L, P1M

## BIKE COURSE



## 2. レースコース (ラン) 5km

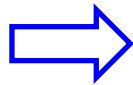
1.3km×3周  
+ 1.1km



### 3. 宿泊場所（選手村）

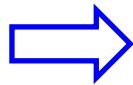
事前情報では、あまり評判は良くなかったが。。。。

部屋内（リビング）



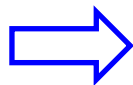
広くて快適

部屋内（洗面所）



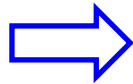
一通り揃っていた

噂の段ボールベッド



熟睡可能

選手村レストラン



万国旗が出迎え

### 3. 宿泊場所（選手村）

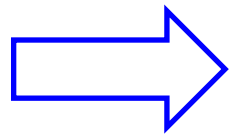


食事はbuffet形式（不満はなし）



## 4. 役割分担とハプニング

与えられた役割は



チーフテクノロジー

KOJI

Chief Technology

## 4. 役割分担とハプニング



チーフテクノロジーとは？

カッコよく言うと、大会中の選手記録に関する情報を集約する

実際は。。。。

①選手全員のアンクルバンドを運ぶ

②全カテゴリーのスタート(11回)の  
フライング有無をVTRで記録

③全カテゴリーのマニュアル着順表  
を集め、HRへ報告

④レース中の違反とDNF情報を集約

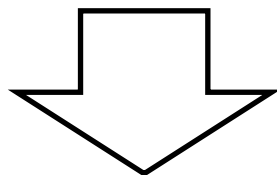
## 4. 役割分担とハプニング

アンクルバンド（2個または3個使い）



## 4. 役割分担とハプニング

2日間開催の予定であったが、水質懸念のため  
1日で全カテゴリー(11組)実施になった



しわ寄せがチーフテクノロジーに来た

前の組のフィニッシュと後の組のスタートが  
重なることがあった

## 5. 国内展開

### (1) ドレリハの効用は確かにある

- レースの予行演習
- スタッフやボランティアが選手役を担い、スタートからフィニッシュまでを通して行う
- わざと違反行為やトラブルを仕込んでいる

初大会やレース内容を大幅に変更する  
大会では事前にヌケモレの洗い出しができ、  
役に立った

## 5. 国内展開

### (2) スタート方法変更

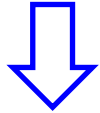


フォルススタートの防止（既に展開中）

## 5. 国内展開



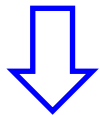
### (3) TOの振る舞い



文句を一切言わない

- ~~・昨日聞いたスケジュールと違う~~
- ~~・マニュアルに書いていない~~

### (4) SEA(スイムエクジットアシスタント)



試泳の時に選手に個別ヒアリング  
(スイムアップの時にどんなサポートが必要か)

## 6. まとめ



### 国内展開

1. ドレリハは初めての大会では効果あり  
⇒見えない課題が見える化できる

2. 新スタート法 (On your marks なし)  
⇒スタートフライングを防止できる

3. 一流TOの振る舞い  
⇒文句の前に笑顔で行動

## 6. まとめ



これからのTOIに求められること

1. 先を読む

2. 全体をみる

3. 共有する



ご清聴頂き、ありがとうございました